

AI時代の ○○ 駆動開発

のりちゃん

個人開発集会 2026.5.7

前提

Webサービス

作ったのに
誰にも使われなない

原因

誰にも
認知されない

原因

自然流入がない

自然流入があれば

放置しても育つ

気づき💡

順序が
間違ってる

作ってから

売る

開発手法

を発明！

注文駆動開発

注文駆動開発とは

従来

開発 → LP → 集客 → 無風

注文駆動

LP → SEO → 注文 → 開発

でも

それ間に合うの…？

今のAIの実力なら 間に合う

3年前なら1ヶ月かかっていたMVPが
今は数リクエスト

…でも、それ

"作れたら"の話

受注して作れなかったら

ただの詐欺

まあ…

それはそう…

現実問題

1. 待ってもらおう
2. 返金する

でも、やっぱり怖いよね

そこで、次の提案

昔、誰かが言いました

アイデアを思いついたら
10記事書いてから作れ

出展不明

良いのはわかってた
でも、しんどい・楽しくない
だから、やらなかった

AI時代の答え

AIに書かせる

しんどくない、辛くない

ブログ駆動開発

ターゲットキーワードで記事を書く



流入を見る



反応があったら、作る

環境を整えて、記事を作り始めたところ

ブログを書くって
どんな記事を書けばいいの？

たとえば

動画 × 多言語化

マーケティング向けサービス

書く記事の例

ノウハウ解説

「YouTube 多言語化 やり方」

サービス比較

「動画翻訳 サービス 比較」

戦略記事

「動画 海外展開」

→ 一定の流入が来てから、作る

書いている間に

世の中の課題がわかる

市場の反応が見れる

どんなライバルがいるかわかる

ライバルのSEO強度がわかる

作る頃には
ドメインに **ブースト**
ユーザー を流せる

作らず、書け！

ご清聴ありがとうございました

のりちゃん

GitHub noricha-vr

X noricha_vr